

平成26年度事業評価結果を受けての市の対応方針等一覧表

【対応方針等一覧表の項目について】

- 1 「事業名」は、平成25年度の名称で掲載しています。
- 2 「市の対応方針」欄の「見直し」は、事業内容等を見直すものです。
- 3 「平成26年度予算額」は、平成27年1月20日現在のものです。
- 4 「差引額」欄の（ ）内は、事業評価の評価結果を受けた見直し等により生じた効果見込額です。
- 5 最終的な市の対応方針は、市議会の予算の議決を経て正式に決定されます。

(単位：千円)

No.	事業名 (所管課名)	事業の概要 (平成25年度当初予算書より抜粋)	事業評価 の 評価結果	市の 対応方針	主な指摘事項	主な見直し事項	対応方針等の具体的内容	平成27年度 予算額(案) (A)	平成26年度 予算額 (B)	差引額 (A) - (B) (評価による効果見込額)
1	小中学校・幼稚園 研究推進事業 (教育研究所)	教員の教育力の向上を目指し、学校改革と生きる力を育む学校づくりのための研究を推進します。	見直し	見直し	・方法を見直すべき ・意欲のある学校により多く支援すべき	・委託校の数及び金額	委託方法について検討した結果、特別研究委託校の校数を減らし、1校あたりの金額を増額することによってより重点的に支援するとともに、学校改革推進支援事業(特別研究委託校以外の学校への研究委託)の一律支給を廃止して対象校を精選することとしました。 詳細な見直し内容	2,560	3,080	▲520 (▲520)
2	学校教育研究団体 助成事業 (教育研究所)	校長会、教頭会及び小中学校教育研究会等に対して、負担金を支出します。	見直し	見直し	・事業費を削減すべき	・負担金の削減	各団体の活動内容について、検討した結果、校長会・教頭会などの負担金について、公費負担の範囲を見直すこととしました。 詳細な見直し内容	1,950	2,553	▲603 (▲727)
3	敬老祝賀事業 (高齢福祉課)	高齢者の長寿をお祝いするため、祝い品を贈呈します。	見直し	見直し	・コスト削減の必要性	・祝品の単価	祝品の内容について検討した結果、贈呈する祝品の単価を2,000円から1,800円に下げることとしました。なお、対象年齢の見直しについては、今後の社会情勢を注視しながら行ってまいります。 詳細な見直し内容	2,927	2,690	237 (▲239)
4	生きがい事業団 助成事業 (高齢福祉課)	高齢者の豊かな経験と知識を社会に役立て、就業することで高齢者自身の生きがいを見出すため、「生きがい事業団」を支援します。	見直し	見直し	・補助金を減額すべき ・成果を示せていない	・補助金の減額	補助金額及び成果指標について検討した結果、運営の効率化による補助金50万円の削減と会員向けアンケートの結果を成果指標のひとつとして設定することとしました。 詳細な見直し内容	27,500	28,000	▲500 (▲500)
5	さわやか条例と 環境美化啓発事業 (循環型社会推進課)	「平塚市さわやかで清潔なまちづくり条例」の目的を実現するため、市民や事業者との協働による清潔なまちづくりを推進するための事業を実施します。	見直し	見直し	・同一事業に複数の取組が混在しているため事業目的が不透明になっている	・事業内容の整理	今後は、市民等の活動の支援に重点を置き、環境美化に努めていくこととし、市民の活動を支援する取組を環境美化支援事業とすることとしました。一方で、さわやか条例の啓発に関する取組は開始後一定年数が経過したことから、啓発物品等の見直しを行った上で、資源循環庶務事業に含めることとしました。 詳細な見直し内容	7,104	7,215	▲111 (▲174)

(単位:千円)

No.	事業名 (所管課名)	事業の概要 (平成25年度当初予算書より抜粋)	事業評価 の 評価結果	市の 対応方針	主な指摘事項	主な見直し事項	対応方針等の具体的内容	平成27年度 予算額(案) (A)	平成26年度 予算額 (B)	差引額 (A)-(B) (評価による効果見込額)
6	青少年指導員活動事業 (青少年課)	青少年健全育成を地域ぐるみで推進するため、地域の人材を青少年指導員に委嘱し、地域行事への協力や青少年への指導等を推進するとともに、研修会等を実施することにより指導員活動を支援します。	見直し	現行 どおり	・青少年指導員の数の見直し ・委託料の削減 ・成果指標の変更	—	青少年指導員活動は、地域から推薦された青少年指導員の献身的なボランティア活動によって支えられており、委託料は青少年指導員の人件費として支給されるものではなく、地域の事業を展開するための経費であること。また、青少年指導員活動の大きな目的は、地域住民がそこに住む青少年を見守り、青少年が健やかに成長するための土壌を醸成することであり、そのために青少年指導員が「青少年指導員活動目標」に沿って地域で活発に活動することが、この事業の成果であると考えていることから、現行どおりの方針としました。 詳細な見直し内容	4,788	4,914	▲126 (0)
7	青少年指導・相談事業 (青少年課)	青少年の非行の未然防止と早期発見、早期指導のため、青少年補導員等による巡回指導を行います。また、青少年の悩みを早期に解消するため、青少年相談員による相談活動を行います。	見直し	見直し	・運営のみ別事業にする必要性が良く分からない	・青少年相談室運営事業との統合	青少年相談室の各事業について、検討した結果、事業を統一することとしました。 詳細な見直し内容	20,585	20,544	41 (▲128)
8	青少年相談室運営事業 (青少年課)	青少年の非行防止や悩みを持つ青少年への適切な助言指導を行うため、啓発活動の実施や青少年補導員や相談員に対し研修等を実施します。	見直し	見直し	・運営のみ別事業にする必要性が良く分からない	・青少年指導・相談事業との統合	青少年相談室の各事業について、検討した結果、事業を統一することとしました。 詳細な見直し内容			

(単位:千円)

No.	事業名 (所管課名)	事業の概要 (平成25年度当初予算書より抜粋)	事業評価 の 評価結果	市の 対応方針	主な指摘事項	主な見直し事項	対応方針等の具体的内容	平成27年度 予算額(案) (A)	平成26年度 予算額 (B)	差引額 (A)-(B) (評価による効果見込額)
9	観光事業 (商業観光課)	既存の観光資源の魅力アップと新しい観光資源の発掘とともに、近隣市町との広域観光や地場産業との連携を進めます。	見直し	見直し	・地元経済活性化につなげる取り組みを行うべき ・観光協会の自主自立	・市の観光事業 ・観光協会が行っている事業	<市の観光事業 産業振興計画による情報発信強化等の見直し> 平成25～26年度に実施している緊急雇用創出事業臨時特例基金市町村補助金事業では、観光情報の発信力の強化を進めました。平成27年度以降は強化した内容を活用して観光資源のルート化(観光スポットをつなぐ周遊コースの作成)など新たな観光情報をホームページ等で発信することで、交流人口の増加に繋がるとともに、本市のイメージアップを図ります。 <観光協会が行っている事業 既存事業の見直しと自主財源確保への働きかけ> 本市の産業振興計画の見直しと並行して、観光協会の既存事業についても、費用対効果等を精査、検討し、事業そのものを廃止したり、対象者となる観光客を絞り込んで実施したりするなどの見直しを行うことで、事業効果の向上を見込みます。 また、観光協会が財政的に自立できるようインターネットを活用した名産品の販売など自主財源を確保する取り組みを積極的に展開するよう働きかけます。 詳細な見直し内容	14,183	49,083	▲34,900 (0)
10	文化スポーツ まちづくり振興財団 運営費助成事業 (資産経営課)	市民の文化、スポーツの振興及び促進並びに公共施設の管理運営等を行う(公財)平塚市文化スポーツまちづくり振興財団の運営費を助成します。	見直し	見直し	・市と財団の事業実施の役割分担や個別の事業の必要性を精査することで補助金を削減する必要がある	・一部の事業を補助対象から除外	財団の事業と関わりの深い4課及び財団で連絡調整会議を開催し、補助事業の見直しを進めることとし、芸術文化振興事業の一部の事業を補助対象事業から除外する等、補助対象事業を見直しました。 詳細な見直し内容	61,918	61,940	▲22 (▲1,820)
合 計										▲36,504 (▲4,108)

※委員の意見、評価理由等については、本市のホームページ(企画政策課の「平成26年度事業評価」-「評価結果」-「2 事業ごとの評価結果と評価理由等」)を御覧ください。

※各事業の内容については、本市のホームページ(企画政策課の「平成26年度事業評価」-「実施要領」-「5 対象事業」)を御覧ください。

事業評価による効果見込額の合計(単位:千円)

削減(8事業)
4,108